

清掃一組だより

第 4 号



発行日：平成 16 年 7 月 15 日

発行：東京二十三区清掃一部事務組合

〒160-0004 東京都新宿区四谷三丁目三番地 1

富士・国保連ビル

T e l 03 - 5361 - 3616

F a x 03 - 5361 - 3636

東京二十三区清掃一部事務組合は、

循環型社会の形成を目指しています。

各区長と管理者が現地を視察しました

(豊島清掃工場・世田谷清掃工場解体工事・足立清掃工場プラント更新工事)

さる 4 月 21 日、管理者（室橋江東区長）が豊島清掃工場と世田谷清掃工場解体工事を、それぞれの地元区長とともに視察しました。また、5 月 10 日には、足立区長が足立清掃工場プラント更新工事を視察されました。

豊島清掃工場は、都心部に位置していることから、煙突については排ガスをより効率的に拡散することや高層ビルに配慮して、清掃工場では日本一の高さ（210m）になっています。

管理者は高野豊島区長と、清掃一組で初めて導入された流動床炉の特徴等について、流動床用砂、バグフィルターの模型などを前に工場長から説明を受けました。流動床炉とストーカ炉との違いについての質問に対し、工場長はそれぞれの特徴を説明しました。管理者は、工場の稼働状況を視察した後、高野区長と懇談し、次の視察先である世田谷清掃工場解体工事現場に向かいました。



高野豊島区長（左）と室橋管理者



解体工事現場を視察する 室橋管理者

現地に到着した管理者は、機械設備や煙突鋼製内筒の解体部分が大型のクレーンによって撤去・荷下ろしされている状況を視察しました。

高さ約 100m の鉄筋コンクリート製煙突外筒については、建設後まだ比較的新しく、意匠も世田谷区が一般公募して決定されたことから新工場にそのまま引継がれます。また、敷地内に残るケヤキやサクラなどの既存樹木は、大切に取り扱い、できるだけ新工場の緑化に活用します。

管理者は熊本世田谷区長とともに、現場事務所で、解体工事が適切に行なわれている事例として、NHKの番組「おはよう日本」で1月末に放映されたビデオを見ました。

職員からは、この工事が、ダイオキシン類ばく露防止対策を実施しながら工場施設を全面的に解体する当一組では初めての事例であること、また、地元住民の皆さんへの工事内容説明と工事の進捗状況の定期的報告を行いながら施工していることなどの説明がありました。

管理者と熊本区長は、新工場完成後再開予定の世田谷美術館への熱供給などを話題に懇談しました。



解体工事現場を視察する 熊本世田谷区長



焼却炉内部を視察する 鈴木足立区長

一方、5月10日に行なわれた鈴木足立区長の足立清掃工場プラント更新工事視察は今回で二度目です。

今回は第二期工事の工事状況を主に、建設中の新1号焼却炉、灰溶融炉（2基）及び完成間近の管理棟を視察され、新1号焼却炉では炉内部にも入られました。

同プラント更新工事は、他工場のダイオキシン類対策工事に伴い23区全体でごみ処理能力に不足が生じることから、焼却炉を稼働しながらの更新工事となっています。このため、工期は63ヶ月と長いですが、今秋から試運転に入り17年3月に竣工を迎えます。

東京二十三区清掃一部事務組合の概要

東京二十三区清掃一部事務組合は、都区制度改革の重要な柱である清掃事業の区移管に際して、可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみの中間処理、し尿の公共下水道への投入について共同で処理するため、平成12年4月1日、23区を構成団体として設立されました。

1 東京二十三区清掃一部事務組合の事業

- (1) 可燃ごみの焼却施設（灰溶融施設及びごみ運搬用パイプライン施設を含む。）の整備及び管理運営
- (2) 不燃ごみ及び粗大ごみの処理施設（破碎、減容）の整備並びに管理運営
- (3) し尿を公共下水道に投入するための施設の整備及び管理運営

2 東京二十三区清掃一部事務組合の予算・職員数

- (1) 予算・・・826億9200万円（平成16年度）

* 歳入の主な内訳：各区からの分担金及び組合債

- (2) 職員数・・・1,411人（平成16年4月1日現在）

ごみの中身をしっかり調べています（ごみ性状調査）

東京23区のごみの中身、収集され工場等に搬入されるごみの組成や発熱量を毎年調査していますが、なぜ、どうやって調べているかご存知ですか。

清掃事業を進めるうえで、計画するにも運営するにも、原料であるごみの性質をしっかりと把握しておかなければなりません。東京都清掃局の時代には、清掃研究所を中心に測定データを積上げてきました。データは昭和40年代までさかのぼれます。区移管後は東京二十三区清掃一部事務組合が引き継いでいます。

そして、平成2年からは法令等に規定され、処理施設を設置している自治体にごみの性状調査とその報告が義務づけられています。

調査は現場でごみをかき混ぜながら、一つ一つ手作業で細かく30種類以上に分けています。まさに汗と熟練（？）の賜物です。これを一箇所につき年4回行います。

調査は、清掃工場、不燃ごみ・粗大ごみ処理施設（22箇所）すべてで行い、年88回、盆と正月を除いて週2回は、ごみのサンプリングと性状分析を行っています。



可燃ごみ サンプリング

さて、可燃ごみのサンプリングは、当日、清掃工場に搬入されたごみをクレーンでつかみ、バンカ上部のホッパステージ（ごみ投入口のあるフロア）のシートに約550kg程度広げます。



仕分け

まず、どんな袋（推奨袋かその他か）でどのくらい出ているかを確認してから、均質化するため袋から出してかき混ぜ、バケツを使って重さを量りながら並べます。次に、バケツの奇数・偶数番目のどちらかを選び約半分の量にして、手作業で分類します。

紙や木、プラスチックという大雑把な分け方ではなく、紙なら新聞・雑誌等9種類、プラスチックならフィルム・レジ袋等10種類に区分けします。分け終わったら各々重さを量って記録します。

そして、水分や組成を分析するためサンプルを各項目別に採ります。この作業を午前と午後2回行い、平均した数値が公式結果となります。

その後、分析機関でサンプルの水分測定や、発熱量、可燃分の割合、炭素や水素等の成分を分析します。また、年4回のうち1回は重金属やプラスチック中の塩化ビニールの割合も量ります。

不燃ごみのサンプリングは、プラスチックが多く比重が軽いので同じ重さだと見かけの量は工場の倍以上あります。そのため分類する量は工場の約半分になりますが、仕分ける項目も多いので、作業は可燃ごみよりも人手が必要です。たとえばガラスならビンとか食器とかの種類別だけではなく、びんの場合は種別・容量別・色別・破損状態等まで仕分けします。分析も可燃ごみと同様に行います。



不燃ごみ サンプリング

報告書は、可燃ごみと不燃ごみはそれぞれ別々にまとめ、ごみ質の経年変化も比べています。

平成 16 年第 2 回 東京二十三区清掃一部事務組合議会定例会報告

平成 16 年第 2 回定例会が 6 月 25 日(金) に開催されました。主な議事内容は以下のとおりです。

○ 議 案 選任同意

議案 番号	件 名	概 要	結 果
13	東京二十三区清掃一部事務組合監査委員の選任同意	議会議員から選出される監査委員について同意を求める。	同意

契 約

議案 番号	件 名	概 要	契約金額(円)	結 果
14	京浜島不燃ごみ処理センター用コンテナの売買契約の締結	老朽化及び劣化のため購入する。	116,928,000	可決
15	中防不燃ごみ処理センター第二プラント用コンテナの売買契約の締結	同 上	224,692,650	可決
16	粗大ごみ破碎処理施設破碎機用高圧電動機の売買契約の締結	同 上	75,600,000	可決
17	世田谷清掃工場建設工事請負契約の締結	ごみ焼却設備と灰溶融設備を設置する。	16,674,000,000	継続 審査
18	杉並清掃工場焼却炉補修及びボイラ設備整備工事請負契約の締結	定期焼却炉補修工事とあわせて設備整備工事を行う。	322,350,000	可決

○ 報 告

報告 番号	件 名	概 要	金 額
1	平成 15 年度東京二十三区清掃一部事務組合繰越明許費繰越計算書	大井清掃工場プラント更新事業にかかる経費を平成 16 年度へ繰越	6,709,825 千円

○ 一般質問

穴戸教男議員(世田谷区) 世田谷清掃工場建設工事にかかる契約締結について

東京二十三区清掃一部事務組合ホームページ(<http://tokyo23.seisou.or.jp/>)

- ・ 議会定例会会議録
- ・ 東京 23 区ごみ処理の流れ
- ・ 施設案内

清掃工場、不燃ごみ処理センター、粗大ごみ破碎処理施設等

- ・ 清掃工場個人見学会、清掃工場だより
- ・ 財政状況の公表
- ・ 例規集(条例・規則等)

その他